



平成 22 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 常 葉 浩 之  
 (コード番号 4848 東証第一部)  
 問い合わせ先 CFO 岡 田 城  
 電 話 番 号 03-4530-4830

## 第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年11月13日付の平成21年9月期決算短信にて公表しました第2四半期累計期間の連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

平成22年9月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,642	551	469	△255	△662.57
今回発表予想(B)	18,035	414	362	△216	△561.23
増減額(B-A)	393	△137	△107	39	—
増減率(%)	2.2%	△24.8%	△22.8%	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	34,764	△596	△686	△2,782	△10,502.90

## 修正の理由

第2四半期連結累計期間は、徐々に景気持ち直しの兆しが見られるものの、完全失業率の高止まりや労働者派遣法改正の動きなどにより、人材サービス事業における事業環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような環境の中、売上面におきましては、営業支援事業の売上高計画が主力商材の販売不振等により未達成となりました。一方、新サービスへの段階的な移行を計画していた短期業務支援事業の売上高につきましては、短期派遣を中心に事業を推進したことにより計画を大きく上回りました。その結果、連結売上高は393百万円増の18,035百万円となる見通しです。

利益面におきましては、営業支援事業の売上高計画未達成による減益の影響から、連結営業利益は137百万円減の414百万円、連結経常利益は107百万円減の362百万円となる見通しです。

また、平成21年12月29日開示「子会社株式の一部譲渡ならびに子会社による株式取得に関するお知らせ」の子会社株式の一部譲渡に関して、関係会社株式売却益114百万円を計上する見込みとなったことなどから、連結四半期純利益は39百万円増の△216百万円となる見通しです。

なお、平成22年9月期通期連結業績予想につきましては、平成22年5月7日に開示予定の平成22年9月期第2四半期決算短信と合わせてお知らせする予定であります。

以 上

当社グループの計画、見通し、戦略などのうち、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

従いまして、当社グループの業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しのみに全面的に依拠されることは控えて下さるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済・金融情勢および雇用情勢の変化、(2)地震などの災害に伴う企業インフラの損害、(3)当社グループの行う事業に適用のある労働基準法、労働者派遣法等の関連法令の変更、解釈の変更などです。

また、新たな情報、将来の事象、その他の結果により、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。